





# 「血盟」には戻らない? 北・中係

## 皮肉込め対中非難 政府交流・原油輸入途絶え

「血盟」とも称された北朝鮮と中国の関係を、容れ難い北朝鮮の要求に修復できない史上最大の悪のレールに至ると言われる。北朝鮮を庇護する姿勢で一貫してきた中国が、突如放しに出した言葉「血盟」を糾弾し、安んずる北朝鮮の要求に容れず、対中非難を皮肉込め、原油輸入途絶え、政府交流を断絶する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。

北・中関係が過去最悪を辿っている。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。



北朝鮮と中国の国境となる豆満江には鉄道と車道の2つの橋が架けられている(写真は中国側の国境標識)

北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。

## 腰定まるか習政権 脱北者送還問題が試金石

習政権の腰が定まるか、脱北者送還問題が試金石となる。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。

## 戦争「ついで」で火傷する金正恩

金正恩は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。

## 権力掌握へのあせり 民生無視のミサイル連射

金正恩は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。

## 寄稿 高英煥 国家安保戦略研究所 首席研究員

北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。北朝鮮は、この間の短距離弾道ミサイルの発射について「正当な権利」として、自衛力の強化に向けた措置と主張する。

# 在日若人の向学心支援を通じて民族の尊厳を貫く、それが使命です。

発足から半世紀。今年もご寄付が奨学生を、税の減免がご厚意を支えます。

創設世代の思いと使命感を胸に 公益財団法人韓国教育財団は今年3月27日、東京・港区において理事会および評議員会を開催し2014年度の予算案と事業計画案を満場一致で可決承認した。今年、厳正なる監査を経て承認された2013年度決算と事業報告を、同じ理事全員と評議員全員による賛成をもってそれぞれ可決承認した。

支給対象	人数	1人年間支給額	支給総額(円)	備考
高校生	41	¥120,000-	4,920,000	
大学生	70	¥500,000-	35,000,000	
大学院生	5	¥1,000,000-	5,000,000	
推薦奨学金奨学生(米国大学院課程)	5	¥2,500,000-	9,700,000	MBA28、JD12、Fine Arts 12、公衆衛生 12
合計	121		54,620,000	

主要事業 ●在日同胞子弟への奨学金支給 ●韓国語能力試験(TOPIK)の援助 ●在日韓国人学生 ウィルマリエヤグ支援 ●在日韓国人教育者研究会開催の支援

科目	予算額(a)	決算額(b)	差額(b-a)	備考
<b>I. 収入の部</b>				
1. 基本財産運用収入	45,000,000	54,440,565	9,440,565	
2. 寄附金等収入	11,100,000	40,863,494	29,763,494	
3. 雑収入	10,000	16,258	6,258	
4. 短期借入金収入	10,000,000	0	△10,000,000	
収入合計(A)	66,110,000	95,320,317	29,210,317	
<b>II. 支出の部</b>				
1. 事業費	61,670,000	64,538,152	△2,868,152	
2. 管理費	10,344,500	10,595,977	△251,477	
3. 住宅維持費	26,780,000	29,048,815	△2,268,815	
4. 雑支出	0	0	0	
5. 予備費	0	0	0	
6. 基金積立	0	0	0	
7. 短期借入金返済支出	10,000,000	0	10,000,000	
当期支出合計(B)	108,794,500	104,182,944	4,611,556	
当期収支差額(A)-(B)			△8,662,627	

科目	金額	備考
<b>I. 資産の部</b>		
1. 流動資産	50,000	
2. 固定資産	1,228,132,908	
3. 負債の部	1,353,419,633	
4. 純資産の部	1,228,132,908	

第36回韓国語能力試験(TOPIK)実施 韓国政府(国立国際教育院)が認定・実施する唯一の韓国語検定試験

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
定期預金	348,648,022			348,648,022
賃貸住宅(土地)	390,054,954			390,054,954
賃貸住宅(建物)	401,497,059	606,900	12,683,329	389,420,630
賃貸住宅(器具備品)	12,401		3,099	9,302
賃貸住宅維持資産	130,155,102	12,686,428	0	142,841,530
合計	1,270,367,538	13,293,328	12,686,428	1,270,974,438

明日を担う若者への奨学金支給事業は皆様の支援で続けられております。当財団への寄付は課税上の優遇措置が適用されます。 公益韓国教育財団 理事 徐東湖 常務理事 崔成有 管理部長 崔明





